

会津地域における水稲湛水直播栽培の基肥窒素量

福島県農業試験場会津支場・平成8～10年春夏作成績概要

1 部門名 水稲－水稲－水稲直播・施肥法・会津平坦 01-01-75136700

2 要 旨

水稲品種「ひとめぼれ」を供試し、湛水直播栽培(条播)の適正な基肥窒素量について検討した。

(1) 移植標準量と同じ基肥窒素0.6kg/aを施用した対照区は、茎数が多く、葉色(SPAD502指示値)が濃かった。全般に、対照区は生育過剰傾向であった。

(2) 対照区は、分けつ期の生育を反映して、成熟期の穂数、 m^2 当たり粒数が多かった。移植と同等の基肥窒素量では、湛水直播栽培は穂数過多になりやすいと考えられた。

(3) 倒伏は対照区でやや強まる傾向にあった。

(4) 移植標準量の8割の基肥窒素0.48kg/aを施用した8割区は、生育中庸で m^2 当たり粒数と精玄米重の年次間差が対照区より少なかった。

(5) 8割区の玄米検査等級は、対照区より良好で安定していた。

以上のことから、生育と収量及び品質の安定性からみて、ひとめぼれの湛水直播(条播)の基肥窒素量は、移植標準量の8割(窒素0.48kg/a)が適すると考えられた。